

お知らせ

Information

Microsoft 包括ライセンス

◎ 包括ライセンスとは？

マイクロソフトが高等教育機関向けに提供しているライセンスです。金沢大学は2010年3月にマイクロソフト社と包括ライセンス契約を締結し、在籍する全ての学生・教職員はWindowsやOfficeのライセンス料が無償となりました。

◎ ライセンス対象者

金沢大学に在籍する教職員及び学生・院生

◎ 利用可能なコンピュータ

教職員が大学で業務に使用しているコンピュータ
教職員が自宅ワークで使用するコンピュータ（1台/1人）
学生・院生が使用するコンピュータ（卒業後は1台/1人）

◎ 対象製品

Windows・Officeの全バージョン（エディションは最高位のもの）

◎ 製品の入手方法

* ダウンロード（教職員の業務用）

アカンサスポータルからダウンロード*

学内で使用するコンピュータのみ

※学内ネットワークからのみダウンロード可能

* インストールディスクの購入（学生・教職員の個人使用）

生協店舗にてインストールディスクを販売

学生証・職員証の提示が必要

閉館情報

—— 年末年始、総合メディア基盤センターは、
以下の期間閉館します。 ——

2010年12月28日～2011年1月3日

* 基幹ネットワーク、各種認証サービス、総合メディア基盤センターの提供する各種ICTサービスなどについて、停止期間が発生する場合は、別途、本センターホームページやアカンサスポータルにてお知らせします。

K.U.-I.M.C.
INFORMATION MEDIA CENTER OF KANAZAWA UNIVERSITY



金沢大学 総合メディア基盤センター

〒920-1192 石川県金沢市角間町 imc-jimu@ml.imc.kanazawa-u.ac.jp
<http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp>

info.Core PRESS のバックナンバーは、
総合メディア基盤センター Web サイトからご覧いただけます。

info. Core No. 16
PRESS

2010

11
November

- » 総合メディア基盤センター
3部門最新活動・研究紹介
- » 新任スタッフあいさつ
- » シンポジウム開催報告（7月8日）
- » オープンキャンパス報告（8月5日・6日）
- » お知らせ
 - ・ Microsoft 包括ライセンス
 - ・ 閉館情報

金沢大学 総合メディア基盤センター
情報誌

情報教育部門

Division of Information Education

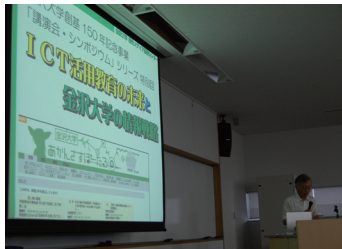
情報教育の実践・実施

全新生入学生必修の授業「情報処理基礎」が無事に終了しました。今年度は、必携パソコンの仕様が大幅に簡素化されたことで、授業にどのような影響が生じるか心配でしたが、特段の混乱もなく終了できました。

教えている教員の側から見ると、年々、新入生のパソコンに対する抵抗感は少なくなっているようです。しかし授業中に行ったアンケートでは、「情報倫理（情報モラル）」について「学習してない」、「そのような言葉を知らない」と回答する学生が少なからずいることも分かりました。情報倫理の学習を入学直後にすることはまだまだ必要なので、今後も、授業内容の改善に努めていきたいと思えます。

その一方で、より応用的な情報処理教育を望む学生もいることが分かりましたので、「文系のための情報処理」「理工系のための情報処理」「医・薬・保健系のための情報処理」をこの後期に共通教育の一般科目として開講しました。この授業では、情報処理基礎よりも少し進んだ内容を取り扱いたいと考えています。

7月8日：シンポジウム開催報告



櫻井理事（情報担当）による開会のあいさつ

シンポジウム「ICT活用教育の未来と金沢大学の情報戦略」を7月8日に開催しました。今年度で5年目となったノートPCの必携化や、情報戦略本部のもとで行われている様々な情報施策についての今後を考えるシンポジウムでした。一連の活動についての報告に加えて、アップルジャパン株式会社エデュケーション本部による「教育におけるPC活用の現状」という特別講演もありました。



特別講演の様子
会場は、参加者で満員でした。

シンポジウムには、約70名の方に参加いただき、全ての講演や報告の終了後に行われた総合討論では、白熱した議論がなされました。今後、シンポジウムについては簡単ではありますが報告集を作成し、シンポジウムの動画をアカンサスポータル等で公開予定です。

青木総合メディア基盤センター長が
司会進行をつとめた総合討論

学術情報部門

Division of Academic Resources

アカンサスポータルの整備状況について

今年度、「アカンサスポータル」は、学生教育・学生生活を支援するためのポータルシステムから、大学の全構成員を対象とした総合ポータルシステムに生まれ変わりました。従来からの機能（大学からのお知らせ、授業情報、就職情報、図書サービスなど、学生の教育にかかわる各種サービス）に加え、ポータルシステムを介して、研究・業務等にかかわるサービスの提供も可能なシステムに拡張しました。今年度の主な整備項目を以下に示します。（なお*は実施予定です。）



- ◎教職員向けの機能：
 - MS 包括ライセンス、給与明細、事務局サイボウズ、電子職員録、教員情報 DB*
- ◎全体向けの機能：
 - スケジュール管理*、施設予約*
- ◎認証機能の強化：
 - 携帯からの利用環境改善（携帯のシングルサインオン対応）*
- ◎安全・安心なポータルを目指した整備：
 - セキュリティ点検*、ユーザ管理機能*、DBの2重化*

新任スタッフあいさつ：東 昭孝 助教

2010年度の4月1日から当センター学術情報部門特任助教として着任した東昭孝（ひがしあきたか）です。

着任前は民間のソフトウェア開発会社で、プログラマー（PG）、システムエンジニア（SE）として、ニュース報道管理システム、POSシステム、携帯電話ハードウェア監視システム、IP電話ユーザ管理システムなどの多くの商用システムの開発に関わってきました。

2008年度からは、本学の大学教育開発・支援センターの特任助教として着任し、FD・ICT教育推進室の一員として、学生向けのポータルサイト、アカンサスポータルの開発・運営・管理の担当、学習管理システム（WebClass）の運用、教務システム改良に関わってきました。教職員の利用も含めた全学向けポータルとして、アカンサスポータルを拡張するために、2010年度より、本センターの一員として、統合認証システムの構築も含めて開発・運営・管理の業務にあたることになりました。

今後は、更に統合認証、アカンサスポータルの使い勝手を向上して、学生、教員、職員がより便利、かつ安全に使用できるように拡張していきたいと思っています。

アカンサスポータルに、このような機能が欲しい、既存機能でもこのような機能にして欲しい等、良いアイデアがありましたら、ご相談ください。ユーザの目線に立って、できる限り、機能の拡張を検討、推進していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひします。

情報基盤部門

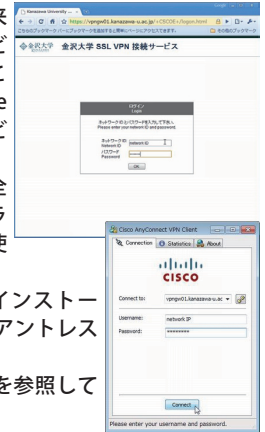
Division of Information Infrastructure

新VPNサービス「VPNGW」

総合メディア基盤センターでは、従来のFirePassに加え、新しいVPNサービス「VPNGW」の運用を開始しました。このサービスは、Cisco社製ASA（Adaptive Security Appliance）を用いたVPNサービスで、下記の2つの機能を持ちます。

- ◎ FirePassと同じく、金沢大学内向けの全ての通信をVPN経由で行う機能（クライアントソフト「Cisco AnyConnect」使用）。
- ◎ Web閲覧を、クライアントソフトのインストール無しにVPN経由で行う機能（クライアントレスVPN）。

詳細については、下記URIのWebページを参照してください。



■ VPNGWの利用（総合メディア基盤センターWebサイト内）
<http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/service/vpn/vpngw/>

なお、これまで提供してきたVPN接続サービスSecuRemoteについては、2010年9月末を以って運用を停止いたしました。

8月5日・6日：オープンキャンパス報告

総合メディア基盤センターは2010年度のオープンキャンパスに参加し、来学された方にインターネットや情報教育に関するアンケートを実施しました。高校生からは想像を上回る645名からの回答を頂きました。回答して頂いた方には「あざみうちわ」を進呈しました。

アンケート結果では、高校生の約9割は自宅でインターネットを利用できる環境にあり、そのほとんどが家族と共有でパソコンを使用しているということでした。金沢大学のノートパソコン必携化については、約8割が「知らない」と回答されましたが、全体の約9割は必携化について好意的な回答をいただきました。必携化の広報活動は金沢大学にとってメリットがあると感じました。情報モラルについては2割弱が習っていないか知りたないと答えており、本学の情報教育の必要性を改めて認識する結果となりました。最後に講義のネット配信について尋ねたところ、6割以上が受けてみたいと回答がありました。



インフォメーションセンターの
横に出展

